



健康部会
だより

グランドゴルフ大会

婦人会・老人クラブと
協力して開催



大府学区子供会大会
開催 !!

11月14日



第17回
大府夏まつり開催



ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ

推進協議会

調査広報部会

事務局

大府公民館

TEL 48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう



大府地区民児協と
協賛で高齢者との
交流会開催
文化福祉部会だより



中学生から

何かと話題の多い中学生。子供会活動からは卒業し、地域とかかわることも少ないようですが、彼らも、コミュニケーションの一員です。どのように地域を、大人を見ているのでしょうか。文化祭のテーマに「環境」を選ぶ、そんな中学生の声を聞いてみました。

問1

学校では、将来社会で必要となることを学んでいるわけですが、「こんな勉強や活動は大人になってから必要ないなあ」と思うことはありますか。

- 数学の因数分解や図形。
- 理科のほとんど。
- 今、学校で学ぶことは大人になっていくにつれ役に立つことだと思いうから、特に必要ないと思うことはない。
- 技術・家庭。ムダなことの方が多い。のこぎりの使い方を知らなくても針が使えるとも大丈夫。
- 自分がなろうと思う職業に必要な勉強以外はいい。
- 国語の文法。いちいち意識して会話することはないから。

三十年ほど前に中学校を卒業をした自分ですが、当時も今も思うことはほとんど変化がないというのが実感です。

学習内容はずいぶん変わっていると思いますが…。頭の中は似ているのかな。

問2

今、世の中は景気が悪いといわれていますが、あなたがそれを実感するのはどんな時ですか。

- サッカーに興味を持っているので横浜フリューゲルスと横浜マリノスの合併問題。その理由が、フリューゲルスのスポンサーがお金を払えないからと聞いた時。
- 大企業や大銀行が倒産した時。
- 会社でリストラされる人が今とて多いから。
- 失業率が高いというような情報は新聞などからは得るが、自分で預金するわけでもなし、買い物すらあまりしないので、実際にはよくわからない。
- 考えたこともない。
- 「就職難」「倒産」「リストラ」などの言葉が、ニュースなどで耳慣れてしまっていること。
- 政府から商品券が出て、子供たちの笑顔が心に浮かびますが、ちょっと待ってください。親の失業で進学を諦めた話も聞きますね。大人たちよ、がんばろう！

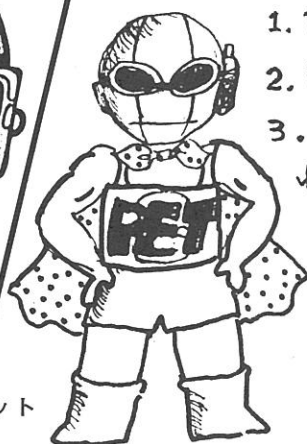
問3

一流といわれる大学を卒業し、有名な企業の役員や官僚となつた一部の大人が悪い事件を起こしています。このことをあなたはどうか考えますか。

- 頭が良いから悪いことにも智慧がまわるのかなと思うけれど、最低だ。
- いくら優秀な人でも情けないと思う。もう少し自分は大人だという自覚を持つてほしい。
- そのような大人が日本を支えると思うと不安だ。本来の仕事に責任感や誇りを持つていないのか。
- 人生を無駄にしていると思う。
- 悪い事件は悪い。それだけでなく日本という国や企業の大切な立場にあつて、権力や信頼を持つている人たちがやっていることが問題だ。

「大人はもっと仕事に責任感や誇りを持つてほしい。」

見た



1. センモはすす！
2. シラウ！
3. 乾かす！
わかったかい？

問4

現在、大府は他の市町村と比べて国際的であると言えると思いますか。また大府や日本が国際社会でなかよく平和に生きていくには、今後どのような努力が必要だと考えますか。

● 大府には多くの外国人が住んでいるが、まだ話をしたことがない。もっと

▶ 11月に行なわれた大府中文化祭のプログラムと、ペットボトルのリサイクルを訴える“ペットマン”。これも生徒のアイデア。

と交流できる場をひらいてはどうか。

●コンピューター

を使って、大府の良いいところをもっと紹介していけばいいと思う。

●国際的とはいえないと思う。街自体に受け入れる環境があまりない。

●他の国々の意見を取り入れ、その上で考えていくのが良いと思う。

●外国の人と接する機会を増やすために、学校で国際交流の行事をもつ。

●看板などに、英語や中国語で書いてあるのを見たことがあるので、国際的になりつつあると思う。

◇

中学生たちは待っています。もっともつと外国の人とふれあう場をつくってください。そして外国の良い面を取り入れられるようにしたいですね。

◇

問5
現代は、個人も社会も個人的であることが求められ、地方の時代だといわれています。あなたにとって「暮らしやすいまち」とはどんなまちですか。

●自然がこわされていない、緑が多くて美しいまち。

●交通の便が良いなど、生活環境がととのったまち。

●障害者や高齢者との輪があり、困っている人を助けられるまち。

●産業文化まつりのようなイベントでみんなが交流できるまち。

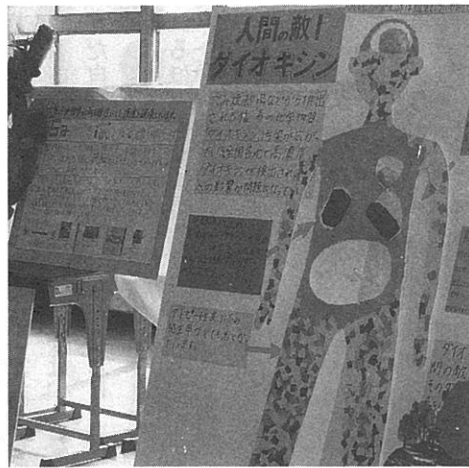
大人の

●近所づきあいがたくさんあるまち

●暮らしている人々が、どこかで結びついているまち

●人と人とのつきあいを大切にして地域の人々が仲の良いまち

「地域でももっと
ゴミをへらす
呼びかけを。」



●中学生がとりくんだ環境問題の展示。ダイオキシンをとりあげています。

問6
どうしたら、他のまちよりも暮らしやすいまちづくりができると考えますか。

●一部の人のみで、同じ人だけでなくもっといろいろな人から意見を聞いてまちづくりをする。

●危険箇所や不便なところなど、市

世界



▲地域に物品提供をお願いしたバザー。回収・搬入・仕分けは自分たちで。

民にアンケートをとり意見を集め、改善していく。

●ダイオキシンなど、環境問題をなくす努力をする。

●一人ひとりが、環境破壊などいろいろな問題の解決を心がける。

●どんな人でも困らないよう、たとえば老人ホームや障害者のためのセンターなどをつくる。

●全員が福祉のことを理解し、自分なりに努力する。

●他のまちより、と考えるよりも、一人ひとりがより気持ちよく暮らしていこうとすることが大切。

●市長や市の役人がしっかりする

こと。

◇

環境問題への関心は高く、自然の大切さを実感しているようです。思っていた以上に、地域の人と人とのつながりを信じているんですね。弱者への思いやりもあり、私たち大人が反省させられる意見も。

◇

問7
大府を今よりも活気のある、暮らしやすいまちにするために、中学生である皆さんと一緒にできることはありますか。あなたのアイデアを貸してください。

●学校で福祉に関係した授業を増やしたり、講演会をひらく。

●中学生も学校だけでなく、たまにはまちへ出て掃除をしてはどうか。

●地域でのゴミ集めやリサイクル活動など、いろんな人が小さなことをやっていくことが大切。

●私たちは学校でゴミを減らす努力をしている。地域でももっと呼びかけをするべきだ。

●子どもの教育をしつかりやる。そのために、教育する大人もしつかりする。

●公共施設や交通機関を充実させてもっと利用しやすいまちづくりを。

◇

中学生だって何かやれる。やっているし、考えている。だけど実際動かしっている大人たちはどうなんだ?というメッセージとして受けとめましょう。

あの人の人

夢いっぱい、花いっぱい、生涯青春!!

深谷 泰造 さん

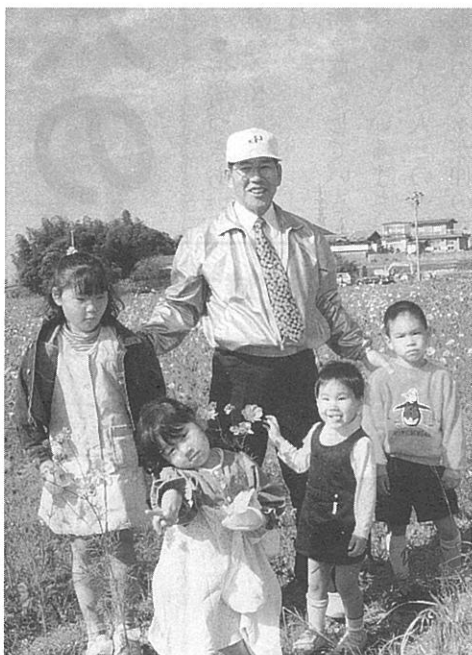
— 朝日 町 —

今回は、朝日町にお住まいの深谷泰造さんに登場していただきました。

「生涯青春!!」という言葉が好き、今日だけではなく明日がほしい」とおっしゃる深谷さんは現在、東知多農協の組合長として、毎日忙しい日々を送っておられます。実際、今回話を伺うにあたっては、時間をとっていただくことがなかなか大変でした。そんな貴重な時間の中でもよい話を聞くことができました。

仕事が生きて甲斐で、旅行や、さまざまな所を訪ね歩いたりする趣味までもが、つつい仕事につながってしまうという深谷さん。第一印象は、まさに生涯青春といった感じを受けました。どんな事にも前向きに取り組んでおられる姿は、話を伺っていてもバイタリティに満ちあふれていました。時折早く、畑に出かけて行き、一時間半ほど農作業をすると、ほど良い汗をかき、前日、多少お酒を飲み過ぎても二日酔いもせず、朝食もとてもおいしくいただけるとのこと。元気の源がここにあ

りました。四世代にわたるご家族の今年百歳を迎えられたお母さまは、まだまだ自分の事は自分でされておられ、天気の良い日などは、庭の草取りまでされるほど元気だそうです。そして、ことお孫さんのことに関しては、バイタリティある顔から柔和な顔に早変わりして、とてもうれしそうに話され、本当に家族のあたたかさを感じました。大家族で生活する事は、多少の遠慮や苦労もあるけれど、それゆえに家族の絆も深くなって行くし、学校教育では



教えてもらうことのできない事も多々教えてもらう事ができ、核家族化の現代においては、そういう環境の中で生活できるということは、とても貴重であり誇りに思っているそうです。

先日中国江蘇省を訪問した折、上海で仲秋の名月を眺めていると、中国の人々はこの日をとても大切に思い、先祖を敬う気持ちがそこそこで見られたそうです。その時に、今の日本人が失い忘れたものに出会えた様な気持ちになったそうです。先祖を大切に、親を大切にすることが何をやるうえでも根底としてあれば、まだまだ我々日本人もすてたものではないことを教えられるました。

また深谷さんは、大府コミュニティ推進協議会監事として、十年来コミュニティ活動に貢献されておりました。

コミュニティ活動は、地域住民に密着したもので、老若男女を問わず、家族ぐるみで参加し、一つの事をみんなで協力し

合い、自分たちの手で行事を盛り上げていく。それが地域という大きな家族を作っていく。これこそまさに深谷さんが理想とするコミュニティ活動の姿です。

深谷さんの様な考えをもった人が一人でも多く増えていけば、我がまち「おおぶ」も今以上に住みよいまち「家族」になっていくことでしょう。

がまち「おおぶ」も今以上に住みよいまち「家族」になっていくことでしょう。

— K —

健康づくり「チャレンジクッキング教室」

(主催) 大府公民館 (48) 1007 (共催) 大府コミュニティ推進協議会
食生活に関する学習をしながら、地元の食生活改善推進員のみなさんと調理実習をします。食生活を改善して、健康の増進をはかりませんか。

- ☐ 日時 1月28日、2月4日、11日、18日 (木曜日 4回)
午前10時～午後1時
- ☐ 場所 大府公民館
- ☐ 定員 24名 (12月17日から受付を行います。先着順です。)
- ☐ 講師 保健センター栄養士・大府地域食生活改善推進委員
- ☐ 内容 第1回「骨粗鬆症にならないために」、第2回「高血圧症にならないために」、第3回「肥満を防ぐには」、第4回「高脂血症にならないために」
- ☐ 受講料 2,500円 (調理実習費を含む)
- ☐ 申込み方法 受講料を添えて大府公民館へ。

あとがき

金木犀が二度咲いて、暖かな秋が過ぎてゆきました。なにかと行事の多い季節、気がついたら、師走でした。

今回のふれあい冬の号は、中学生の様子を地域の皆様に紹介してみました。イジメたり、キレたりしていません。生が身近な所ががんばっています。よかったです。一度声をかけてみてください。